



01文学部

(定員175人)の英語教育に関する取組 (令和7年度)

就職活動
就職

TOEIC (L&R) 700点/800点以上取得を指導

大学院入試
進学

大学院入試では、外部検定試験(TOEIC, TOEFL, IELTS, GTECのいずれか)のスコアを合否判定のための資料とする場合がある。

2年生から4年生にかけて
英語で学ぶ専門科目

領域によって実践演習や課題演習で英語を使って専門を学びます

3年生必修
英語科目高年次英語
(1単位)

「英語で学ぶ人文学」(2単位)
以下、2つのスタイルでおこないます

- ① 英語による講義
- ② 領域独自の授業

2年生必修
英語科目

「アカデミック英語(プレゼンテーション)」 「アカデミック英語(ライティング)」 (各2単位)

各学生のレベルに応じて**学術目的の英語**を養成: Accuracyを重視して、
英語によるプレゼンテーションができ、
英文のリサーチペーパーが書ける力を身に付けます。

2年次から5つの教育分野 「哲学・芸術学」「地理学・社会学・文化人類学・社会文化学」「心理学」「歴史学・考古学」「言語文化学」

1年生必修
英語科目

「コミュニケーション英語(S&L)」 「コミュニケーション英語(R&W)」 (各2単位)

各学生のレベルに応じて**一般教養の英語**を養成: Fluencyを重視して、
英語によるコミュニケーション力を高めます。

文学部 定員175人

キャリアパス英語

SPACE英語

●文学部の英語学習の目標

文学部における学問分野は多岐にわたっており、必要とされる英語力は一様ではありません。英語学・英語圏文学領域では当然英語文献の読解力や英語での発信力が必要とされます。その他の領域でも英語文献を読む授業があります。英語以外の外国語を使用する領域では、英語を補助言語として使用することがあります。学問研究の性質上、英語を多用しない領域においても、その成果を英語で海外に発信できるようになることが期待されます。

●文学部の英語学習の特徴

多言語を取り扱う中で英語を相対的に有力なコミュニケーション手段としています。文学部では英語をツールとして活用するとともに、他者理解のための扉の一つと考えています。例えば、「ことばと異文化」や「異文化理解」といった授業は英語で行われ、言語、心理、日常の行動について異なる文化と文化の間で考え、さまざまなトピックスについて議論することへと誘います。このような訓練は自分の意見を世界に広く発信することに寄与し、卒業論文などの研究の際にも役立ちます。